

代表的なご意見をまとめると、次のような内容であった。

1. 森林づくり県民税への意識

森林づくり県民税への意識では、税の徴収や継続に好意的な意見の傾向として

- ・金額は500円が妥当
 - ・5年を目途に内容を検証して継続
- とのご意見が多く寄せられた。

2. 森林づくり県民税の徴収及び継続

森林づくり県民税の徴収及び継続に対しては、一定の条件を求める声も多く

- ・用途及び執行状況、実績及び評価を定期的に公表
 - ・無駄な使い方がされないよう客観的に評価
- する仕組みづくりへのご意見が多く寄せられた。

また、森林づくり県民税の徴収及び継続に反対する御意見としては

- ・森林整備は森林所有者が自らの負担で行うべき
 - ・経済情勢が厳しい中で県民の負担増となることはやめるべき
- といったご意見をいただいた。

3. 森林づくり県民税の用途

もっとも多かった御意見としては「森林整備」に関するもので

- ・長野県の自然環境を構成する森林整備
 - ・野生鳥獣被害対策としての森林整備
 - ・人材・雇用の創出の場として林業を活性化
- といったご意見が多く寄せられた。

4. 今後の課題

今後の課題としては

- ・これまでの取組は「切捨間伐」が主体で木材の利用に目が向けられていない
 - ・次代を担う子供達のために環境学習や地域の遊び場の提供などに取り組む
- といったご意見をいただいた。

また、用途に関しても

- ・森林所有者の利益とならないよう公平な使い方を
 - ・行政の使い勝手の良いものではなく、県民のための使い方を
- といった御指摘を受けた。

IV 調 査 票

1. ご回答いただいた方についての質問

問1 回答者の性別について

あなたの性別について、次の中から **1つ** お選びください。

- ① 男性
- ② 女性

こちらに番号をご記入ください
(以下、同様をお願いします)



問2へ

問2 回答者の年齢について

あなたの年齢について、次の中から **1つ** お選びください。

- ① 20～29才
- ② 30～39才
- ③ 40～49才
- ④ 50～59才
- ⑤ 60～64才
- ⑥ 65～69才
- ⑦ 70～74才
- ⑧ 75才以上



問3へ

問3 回答者の職業について

あなたの職業について、次の中から **1つ** お選びください。

(複数の職をお持ちの方は、収入が多いなど、主たる職業の方をお選びください。)

- | | |
|-----|---------------------------------|
| 自営業 | ① 農業・漁業の自営業 |
| | ② 林業の自営業 |
| | ③ 商・工・サービス業 (小売店・飲食店・理髪店・修理店など) |
| | ④ 自由業 (開業医・弁護士・宗教家・芸術家・茶華道師匠など) |
| お勤め | ⑤ 役員・管理職 (民間会社・官公庁の課長級以上) |
| | ⑥ 事務職・専門技術職 (事務職員・教員・技術者など) |
| | ⑦ 技能・労務職 (技能工・販売店員・外交員など) |
| | ⑧ 林業関係職 (森林組合・林業事業体など) |
| その他 | ⑨ 主婦・主夫 |
| | ⑩ パート・アルバイト |
| | ⑪ 学生 |
| | ⑫ 無職 |
| | ⑬ その他 (具体的にお書きください:) |

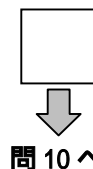


問4へ

問9 森林税を継続した場合の金額について

現在の森林税では、県内にお住まいの個人の方から、お一人あたり年額500円をいただいています。仮に森林税を継続する場合、あなたは年間どの程度の金額まで負担することができるとお考えですか？ 次の中から1つお選びください。

- ① 1,000円よりも多くても負担できる
- ② 1,000円
- ③ 現在の金額と同じ500円
- ④ 300円
- ⑤ 100円
- ⑥ 負担することはできない
- ⑦ わからない

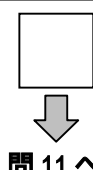


問10へ

問10 森林税を継続した場合の期間について

現在の森林税は、平成20年度から24年度までの5年間が実施期間です。仮に森林税を継続する場合、あなたは継続する期間についてどのようにお考えですか？ 次の中から1つお選びください。

- ① 5年間より長い方がよい
- ② 現在の期間と同じ5年間でよい
- ③ 5年間より短い方がよい
- ④ わからない



問11へ

問11 森林税に関するご意見について

森林税に関するご意見等がある場合は、以下にご記入をお願いします。

「2.長野県森林づくり県民税（森林税）についての質問」はこれで終わりです。次の「3.長野県の森林・林業政策全般についての質問」にお進みください。

**平成23年度 森林づくり県民税アンケート調査
(企業)**

長野県

1 調査目的

長野県森林づくり県民税に対する企業の意向を調査分析し、「みんなで支える森林づくり県民会議及び地域会議」等において、今後の森林づくり県民税のあり方を検討する資料とするため。

2 調査方法

- ・ 地域：長野県全域
- ・ 配付及び回収方法：郵送配付・郵送回収
- ・ 調査期間：平成23年9月1日～9月30日

3 配付・回収状況

- ・ 配布数：100社
- ・ 回収数：52社
- ・ 回収率：52%

4 集計等について

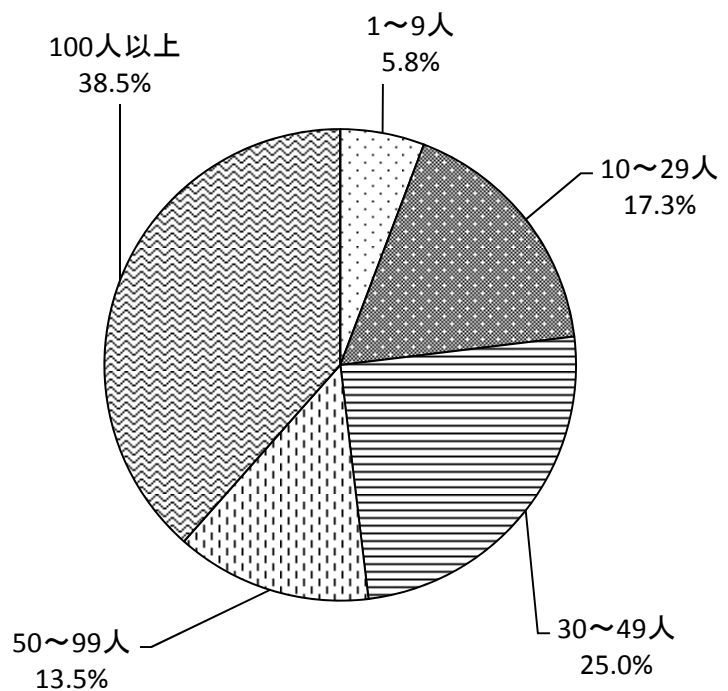
- ・ 四捨五入の有効数字の関係で、合計が100%にならない場合があります。
- ・ 要求回答数を超える等、設問の要求形式に沿わない回答を無効としました。
- ・ 無回答・無効は、不明として表示しました。
- ・ 森林づくり県民税を森林税として表示しました。
- ・ 設問の回答項目の一部をわかりやすい標記に変更しました。

5 回答状況

【従業員数別】

	回答数(企業数)	割合(%)
1～9人	3	5.8
10～29人	9	17.3
30～49人	13	25.0
50～99人	7	13.5
100人以上	20	38.5
計	52	100.1

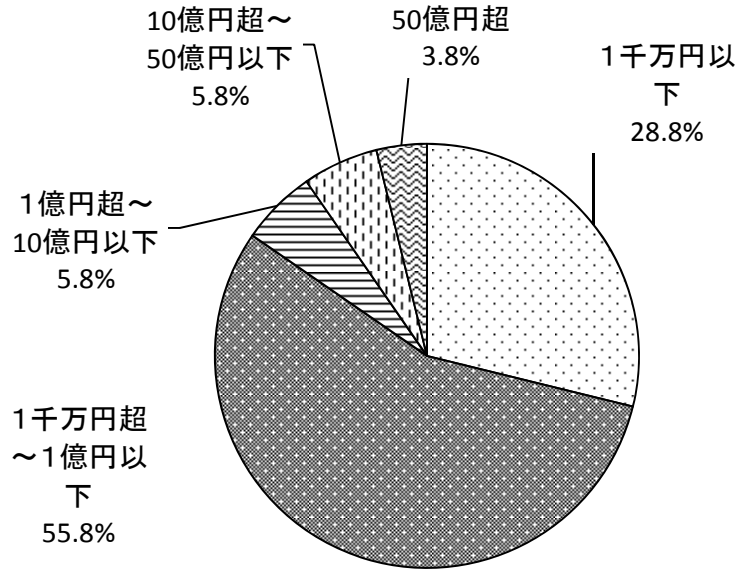
従業員数が100人以上(38.5%)の企業が一番多く、次に30～49人(25.0%)の企業が多い結果となった。



【資本金別】

	回答数(企業数)	割合(%)
1千万円以下	15	28.8
1千万円超～1億円以下	29	55.8
1億円超～10億円以下	3	5.8
10億円超～50億円以下	3	5.8
50億円超	2	3.8
計	52	100.0

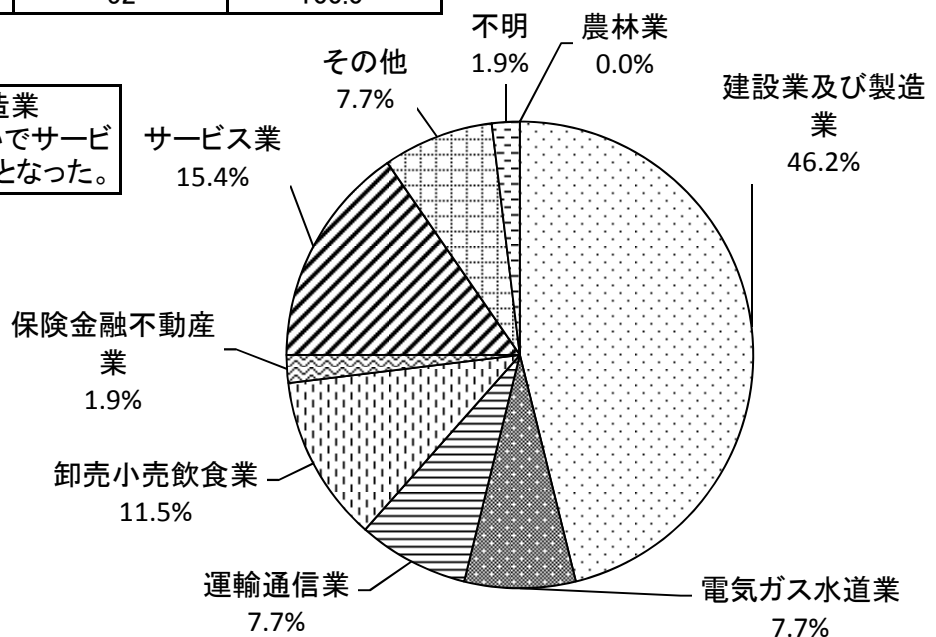
資本金が1千万円超～1億円以下(55.8%)と一番多く、次に1千万円以下(28.8%)が多い結果となった。



【業種別】

	回答数(企業数)	割合(%)
農林業	0	0.0
建設業及び製造業	24	46.2
電気ガス水道業	4	7.7
運輸通信業	4	7.7
卸売小売飲食業	6	11.5
保険金融不動産業	1	1.9
サービス業	8	15.4
その他	4	7.7
不明	1	1.9
計	52	100.0

業種は、建設業及び製造業(46.2%)が一番多く、次いでサービス業(15.4%)が多い結果となった。

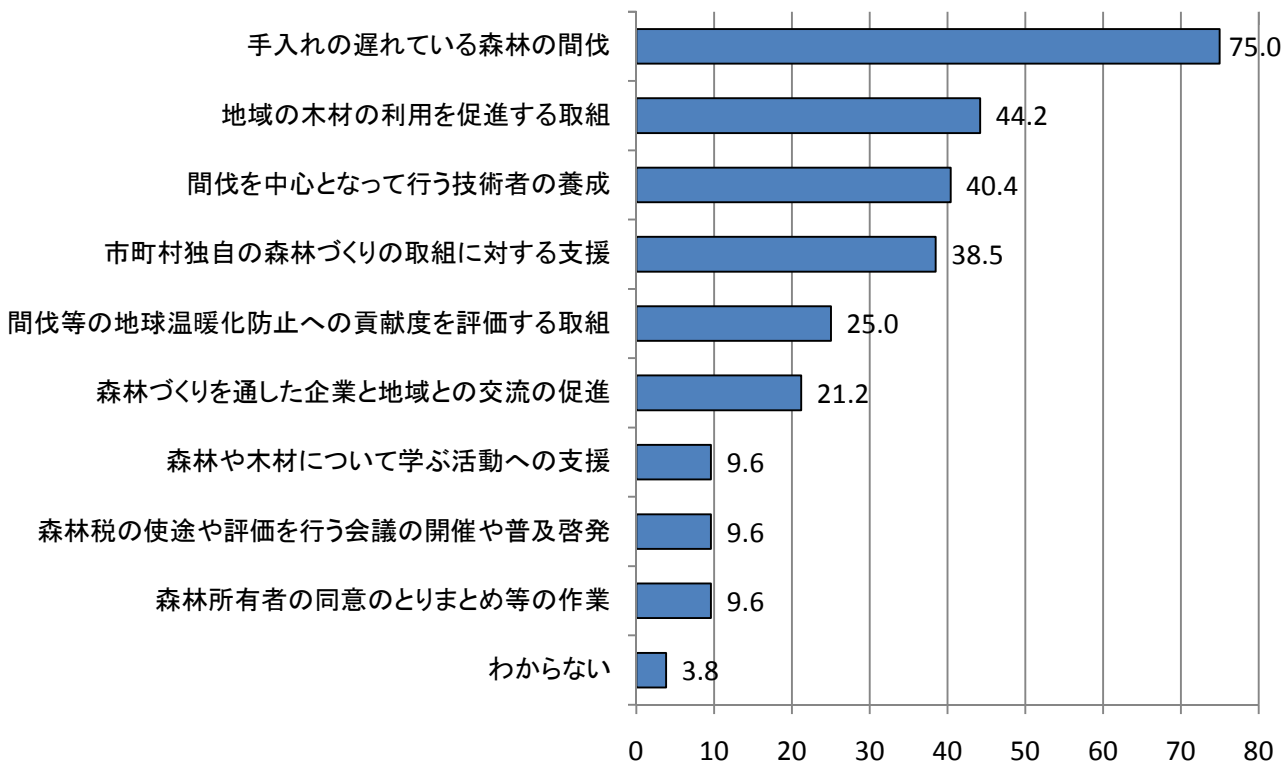


問1 森林税を活用した取組について

森林税は現在、以下のような森林づくりに関する取組に活用されています。
貴社が**大切だと思う取組**を、次の中から**3つまで**お選びください。

「手入れの遅れている森林の間伐」が75.0%と最も高い割合で、次いで「木材の利用を促進する取組」（44.2%）、「間伐を行う技術者の育成」（40.4%）が高い割合となった。

	n=144	回答数(企業数)	割合(%)
① 手入れの遅れている森林の間伐		39	75.0
② 森林所有者の同意のとりまとめ等の作業		5	9.6
③ 間伐を中心となって行う技術者の養成		21	40.4
④ 市町村独自の森林づくりの取組に対する支援		20	38.5
⑤ 地域の木材の利用を促進する取組		23	44.2
⑥ 森林税の用途や評価を行う会議の開催や普及啓発		5	9.6
⑦ 森林や木材について学ぶ活動への支援		5	9.6
⑧ 森林づくりを通じた企業と地域との交流の促進		11	21.2
⑨ 間伐等の地球温暖化防止への貢献度を評価する取組		13	25.0
⑩ 大切な取組はない		0	0.0
⑪ わからない		2	3.8

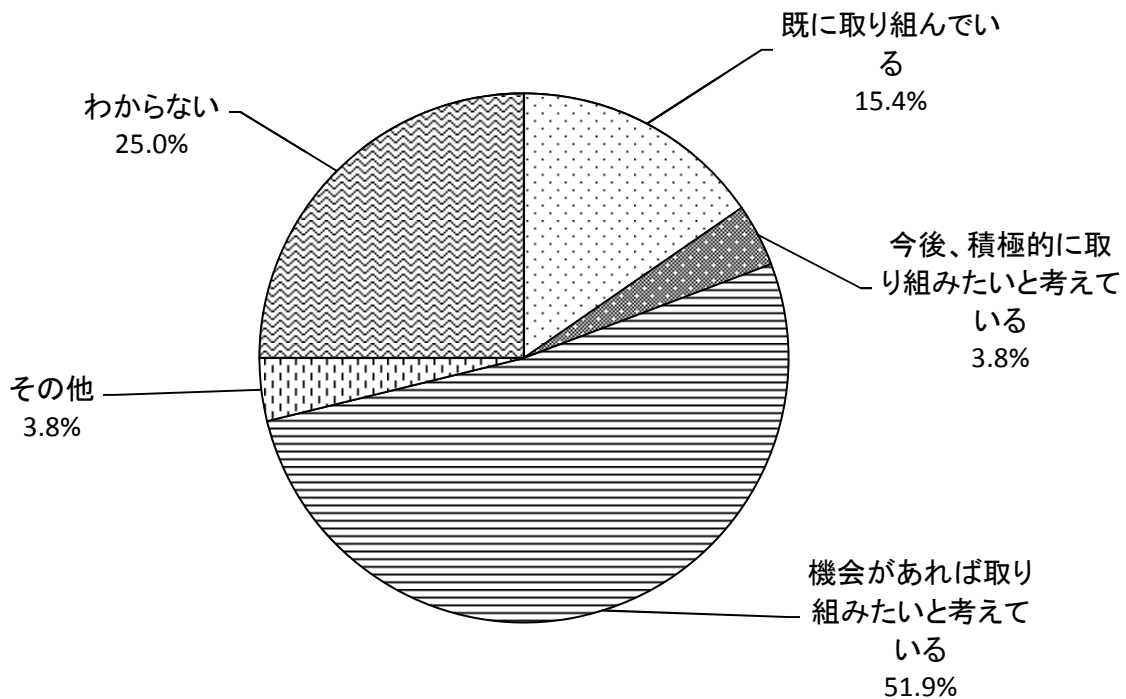


問2 森林づくりによる社会貢献活動について

貴社が取り組んでいる様々な社会貢献活動の中で、森林づくりによる社会貢献活動についてどのようにお考えですか？ 次の中から1つお選びください。

「機会があれば取り組みたいと考えている」が51.9%と最も高い割合で、次いで「わからない」(25.0%)、「既に取り組んでいる」(15.4%)が高い割合となった。

	n=52	回答数(企業数)	割合(%)
①既に取り組んでいる		8	15.4
②今後、積極的に取り組みたいと考えている		2	3.8
③機会があれば取り組みたいと考えている		27	51.9
④その他		2	3.8
⑤わからない		13	25.0

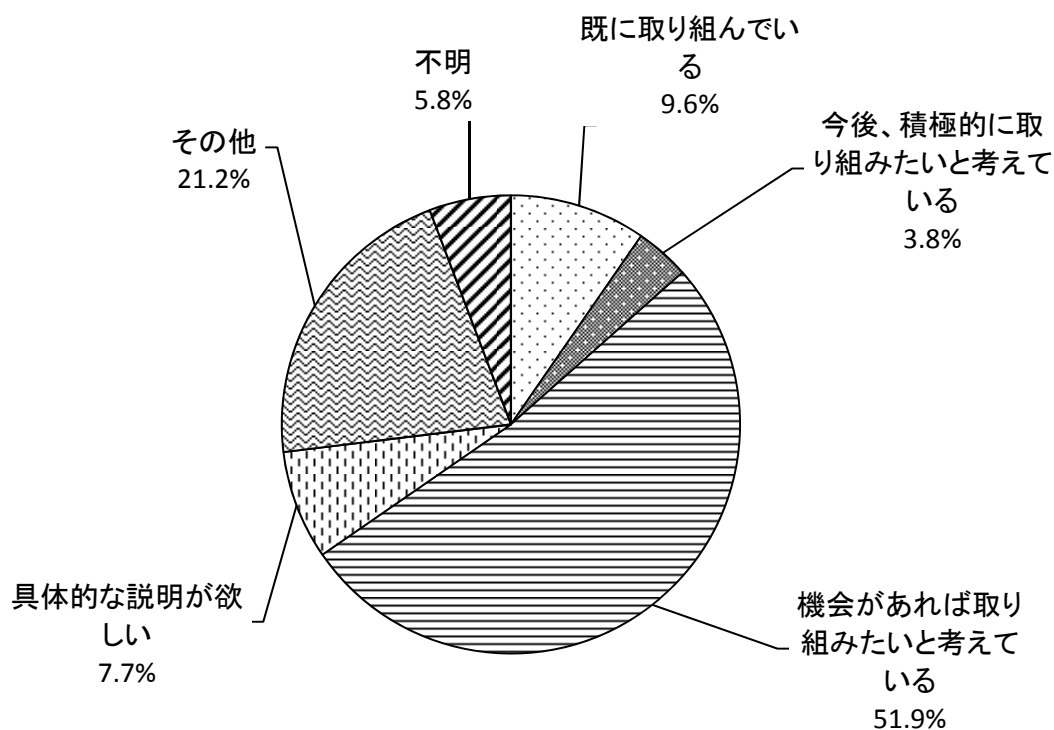


問3 森林(もり)の里親促進事業について

森林整備や木質バイオマス利活用によるCO₂吸収・削減などの社会貢献活動に意欲的な企業等と山村地域を県が仲介し、地域の活性化を促進する**森林(もり)の里親促進事業**についてどのようにお考えですか？ 次の中から1つお選びください。

「機会があれば取り組みたいと考えている」が51.9%と最も高い割合で、次いで「その他」(21.2%)、「既に取り組んでいる」(9.6%)が高い割合となった。

	n=52	回答数(企業数)	割合(%)
① 既に取り組んでいる		5	9.6
② 今後、積極的に取り組みたいと考えている		2	3.8
③ 機会があれば取り組みたいと考えている		27	51.9
④ 具体的な説明が欲しい		4	7.7
⑤ その他		11	21.2
⑥ 不明		3	5.8



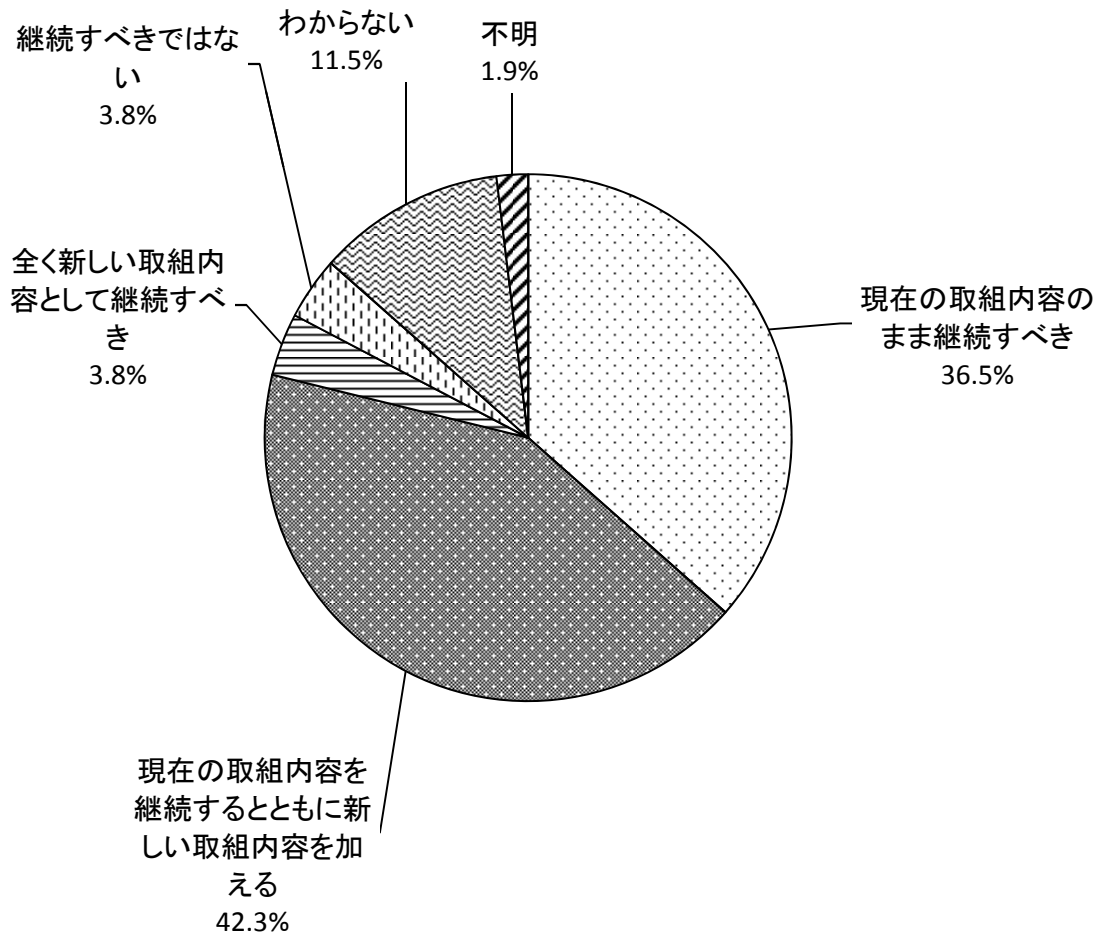
問4 森林税の継続について

現在の森林税は、平成20年度から24年度までの5年が実施期間です。

貴社は、平成25年度以降の森林税の継続についてどのようにお考えですか？ 次の中から1つお選びください。

「新しい取組を加えて継続する」が（42.3%）と最も高い割合で、次いで「現在の取組のまま継続する」（36.5%）、「わからない」（11.5%）が高い割合となった。

	n=52	回答数(企業数)	割合(%)
① 現在の取組内容のまま継続すべき		19	36.5
② 現在の取組内容を継続するとともに新しい取組内容を加える		22	42.3
③ 全く新しい取組内容として継続すべき		2	3.8
④ 継続すべきではない		2	3.8
⑤ わからない		6	11.5
⑥ 不明		1	1.9

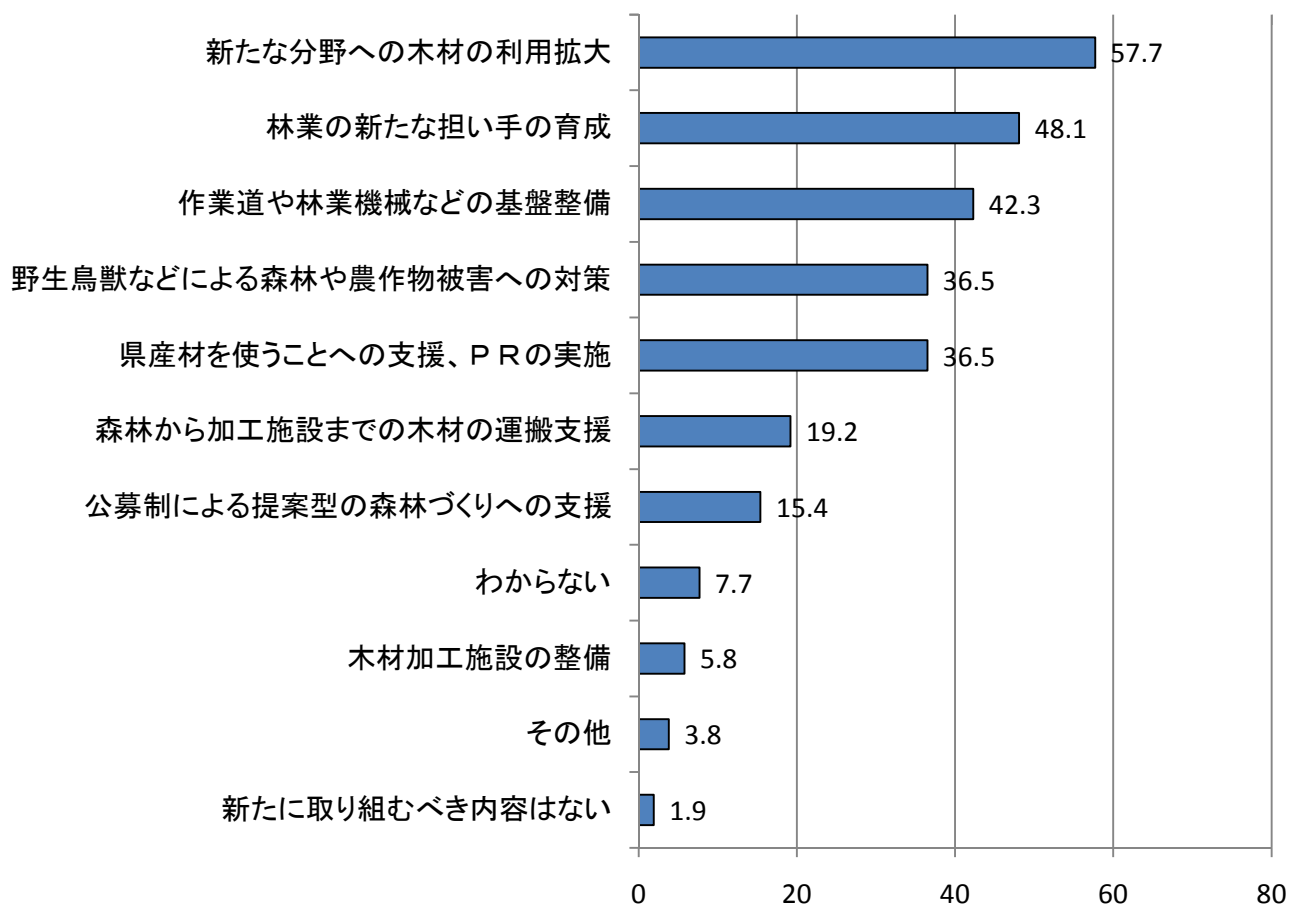


問5 森林税を継続した場合の取組について

仮に森林税を継続する場合、貴社が森林税を活用すべきだと考える**今後の新たな取組内容は何か？** 次の中から**3つまで**お選びください。

「新しい分野への木材利用拡大」が57.7%と最も高い割合で、次いで「担い手の育成」(48.1%)、「作業道等の基盤整備」(42.3%)が高い割合となった。

	n=143	回答数(企業数)	割合(%)
① 作業道や林業機械などの基盤整備		22	42.3
② 森林から加工施設までの木材の運搬支援		10	19.2
③ 木材加工施設の整備		3	5.8
④ 県産材を使うことへの支援、PRの実施		19	36.5
⑤ 新たな分野への木材の利用拡大		30	57.7
⑥ 林業の新たな担い手の育成		25	48.1
⑦ 野生鳥獣などによる森林や農作物被害への対策		19	36.5
⑧ 公募制による提案型の森林づくりへの支援		8	15.4
⑨ その他		2	3.8
⑩ 新たに取り組むべき内容はない		1	1.9
⑪ わからない		4	7.7

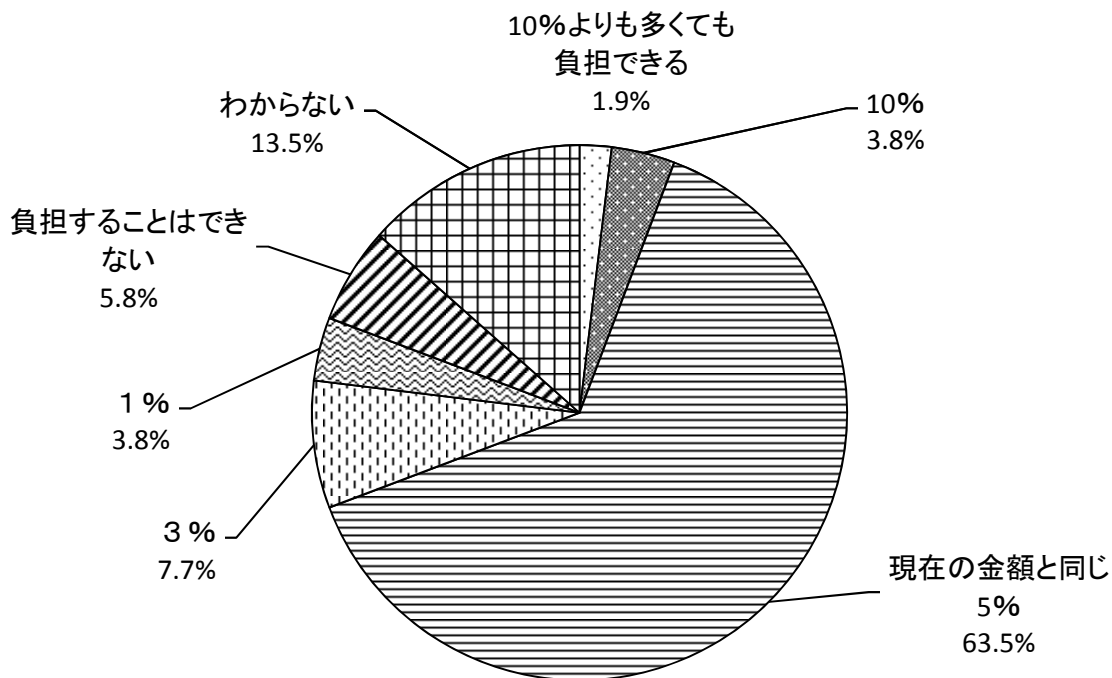


問6 森林税を継続した場合の金額について

現在の森林税では、法人の皆様から、**年額均等割額の5%**をいただいています。
仮に森林税を継続する場合、**貴社は年間どの程度の金額まで負担することができるとお考えですか？** 次の中から**1つ**お選びください。

「現行と同じ5%」が63.5%と最も高い割合となった。

	n=52	回答数(企業数)	割合(%)
① 10%よりも多くても負担できる		1	1.9
② 10%		2	3.8
③ 現在の金額と同じ5%		33	63.5
④ 3%		4	7.7
⑤ 1%		2	3.8
⑥ 負担することはできない		3	5.8
⑦ わからない		7	13.5

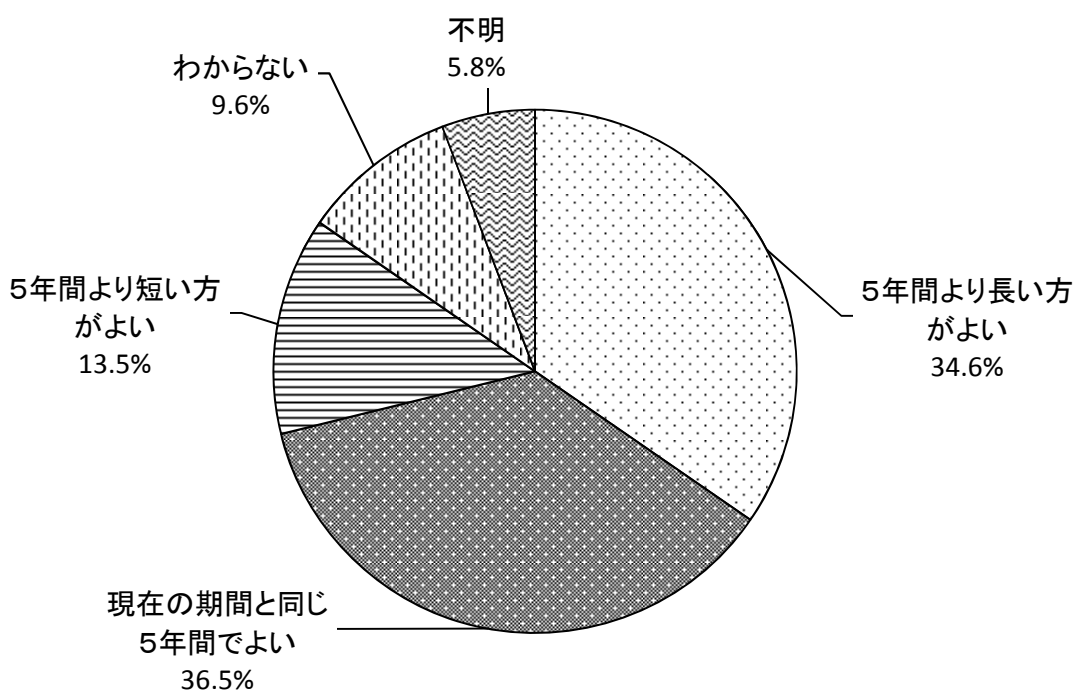


問7 森林税を継続した場合の期間について

現在の森林税は、平成20年度から24年度までの**5年間**が実施期間です。
仮に森林税を継続する場合、**貴社は継続する期間についてどのようにお考えですか？**
次の中から**1つ**お選びください。

「現行と同じ5年間」が36.5%と最も高い割合で、次いで「5年間より長い方がよい」が34.6%と高い割合となった。

	n=52	回答数(企業数)	割合(%)
① 5年間より長い方がよい		18	34.6
② 現在の期間と同じ5年間でよい		19	36.5
③ 5年間より短い方がよい		7	13.5
④ わからない		5	9.6
⑤ 不明		3	5.8



問8 森林税に関するご意見について

13社から御意見をいただきました。主な内容は次のとおりです。

- ・継続に賛成
- ・活用状況の公表。
- ・効果の検証。
- ・木材利用や野生鳥獣による被害対策への活用など。

平成23年度 森林づくり県民税アンケート調査
(市町村)

長野県

1 調査目的

長野県森林づくり県民税に対する市町村の意向を調査分析し、「みんなで支える森林づくり県民会議及び地域会議」等において、今後の森林づくり県民税のあり方を検討する資料とするため。

2 調査方法

- ・ 地域：長野県全域
- ・ 配付及び回収方法：郵送配付・郵送回収
- ・ 調査期間：平成23年9月1日～9月30日

3 配付・回収状況

- ・ 配布数：77市町村
- ・ 回収数：77市町村
- ・ 回収率：100%

4 集計等について

- ・ 四捨五入の有効数字の関係で、合計が100%にならない場合があります。
- ・ 要求回答数を超える等、設問の要求形式に沿わない回答を無効としました。
- ・ 無回答・無効は、不明として表示しました。
- ・ 森林づくり県民税を森林税として表示しました。
- ・ 設問の回答項目の一部をわかりやすい標記に変更しました。

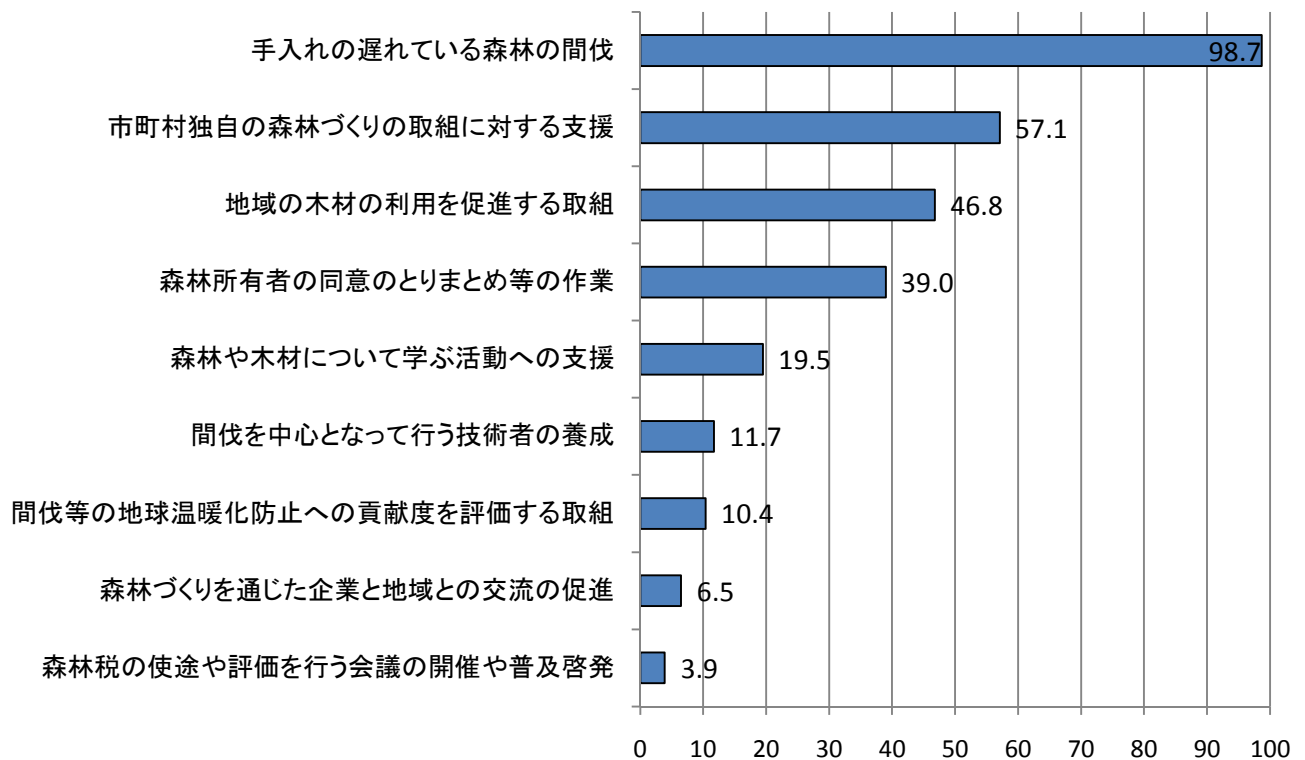
5 回答状況

問1 森林税を活用した取組について

森林税は現在、以下のような森林づくりに関する取組に活用されています。
大切だと思う取組を、次の中から**3つまで**お選びください。

「手入れの遅れている森林の間伐」が98.7%と最も高い割合で、次いで「市町村独自の森林づくりの取組に対する支援」（57.1%）、「木材の利用を促進する取組」（46.8%）の順となった。

	n=226	回答数 (市町村数)	割合(%)
① 手入れの遅れている森林の間伐		76	98.7
② 森林所有者の同意のとりまとめ等の作業		30	39.0
③ 間伐を中心となって行う技術者の養成		9	11.7
④ 市町村独自の森林づくりの取組に対する支援		44	57.1
⑤ 地域の木材の利用を促進する取組		36	46.8
⑥ 森林税の用途や評価を行う会議の開催や普及啓発		3	3.9
⑦ 森林や木材について学ぶ活動への支援		15	19.5
⑧ 森林づくりを通じた企業と地域との交流の促進		5	6.5
⑨ 間伐等の地球温暖化防止への貢献度を評価する取組		8	10.4
⑩ 大切な取組はない		0	0.0
⑪ わからない		0	0.0

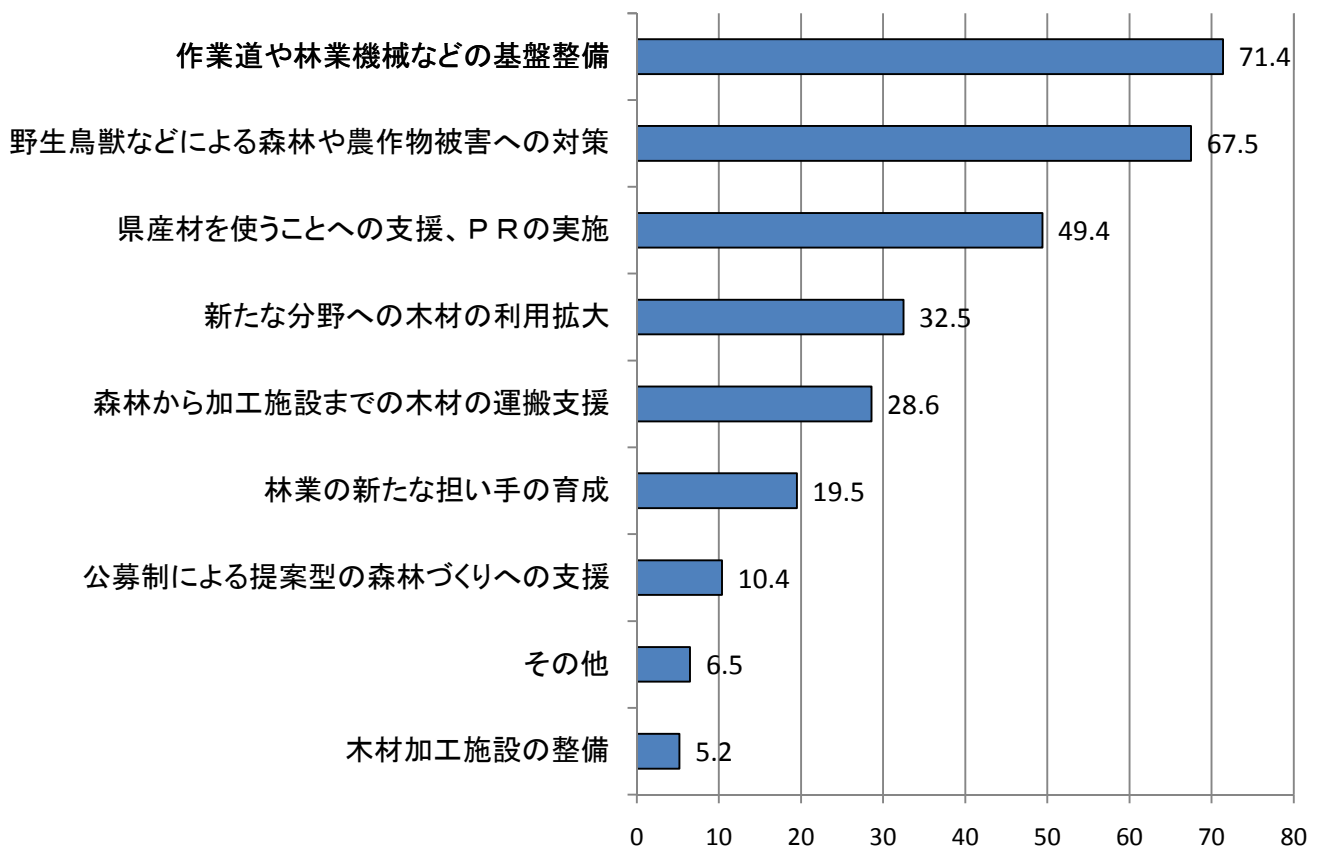


問2 森林税を継続した場合の取組について

仮に森林税を継続する場合、森林税を活用すべきだと考える今後の新たな取組内容は何ですか？ 次の中から**3つまで**お選びください。

「作業道等の基盤整備」が71.4%と最も高い割合で、次いで「野生鳥獣などの被害対策」(67.5%)、「県産材を使うことへの支援やPR」(49.4%)の順となった。

	n=224	回答数 (市町村数)	割合(%)
① 作業道や林業機械などの基盤整備		55	71.4
② 森林から加工施設までの木材の運搬支援		22	28.6
③ 木材加工施設の整備		4	5.2
④ 県産材を使うことへの支援、PRの実施		38	49.4
⑤ 新たな分野への木材の利用拡大		25	32.5
⑥ 林業の新たな担い手の育成		15	19.5
⑦ 野生鳥獣などによる森林や農作物被害への対策		52	67.5
⑧ 公募制による提案型の森林づくりへの支援		8	10.4
⑨ その他		5	6.5
⑩ 新たに取り組むべき内容はない		0	0.0
⑪ わからない		0	0.0

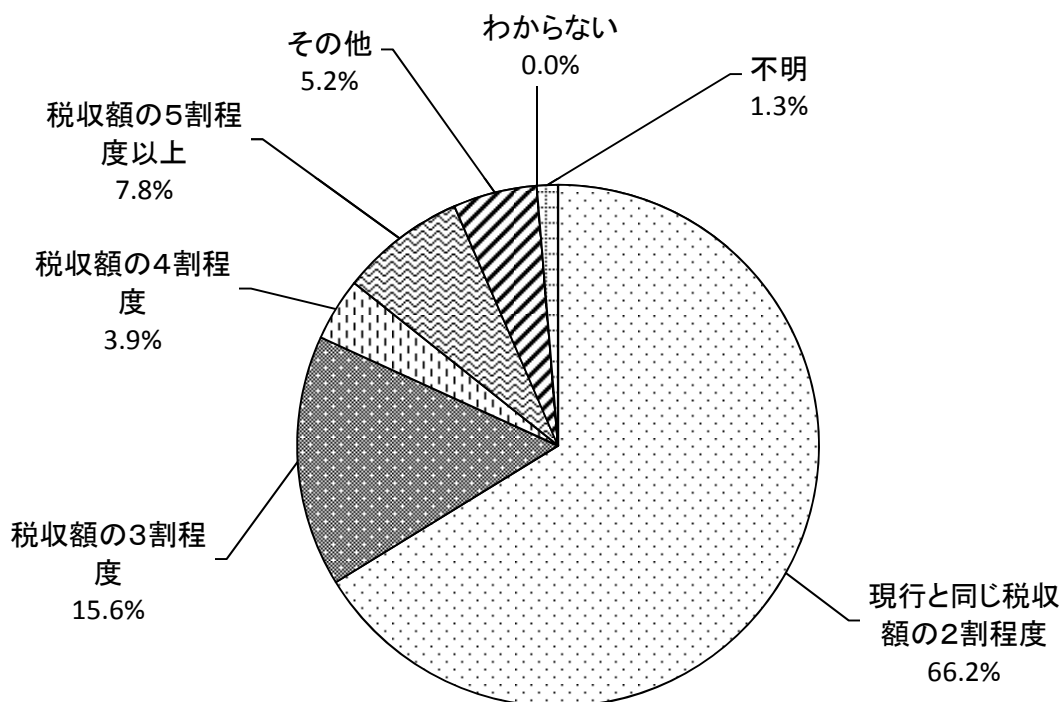


問3 森林税を継続した場合の森林づくり推進支援金について

仮に森林税を継続する場合、森林づくり推進支援金の金額で**適当**と思う割合は何ですか？
次の中から**1つまで**お選びください。

「現行と同じ2割程度」が66.2%と最も高い割合で、次いで「税収額の3割程度」（15.6%）、「税収額の5割程度以上」（7.8%）の順となった。

	n=77	回答数 (市町村数)	割合(%)
①現行と同じ税収額の2割程度		51	66.2
②税収額の3割程度		12	15.6
③税収額の4割程度		3	3.9
④税収額の5割程度以上		6	7.8
⑤その他		4	5.2
⑥わからない		0	0.0
⑦不明		1	1.3



問4 森林づくり推進支援金に関するご意見について

31市町村から御意見をいただきました。主な内容は次のとおりです。

- ・各地域の多様な課題に対応するため配分額の拡充。（多数）
- ・重要な事業であるため継続。（多数）
- ・切捨間伐や野生鳥獣による被害対策などへの活用方法の検討。

問5 森林税を継続した場合の金額について

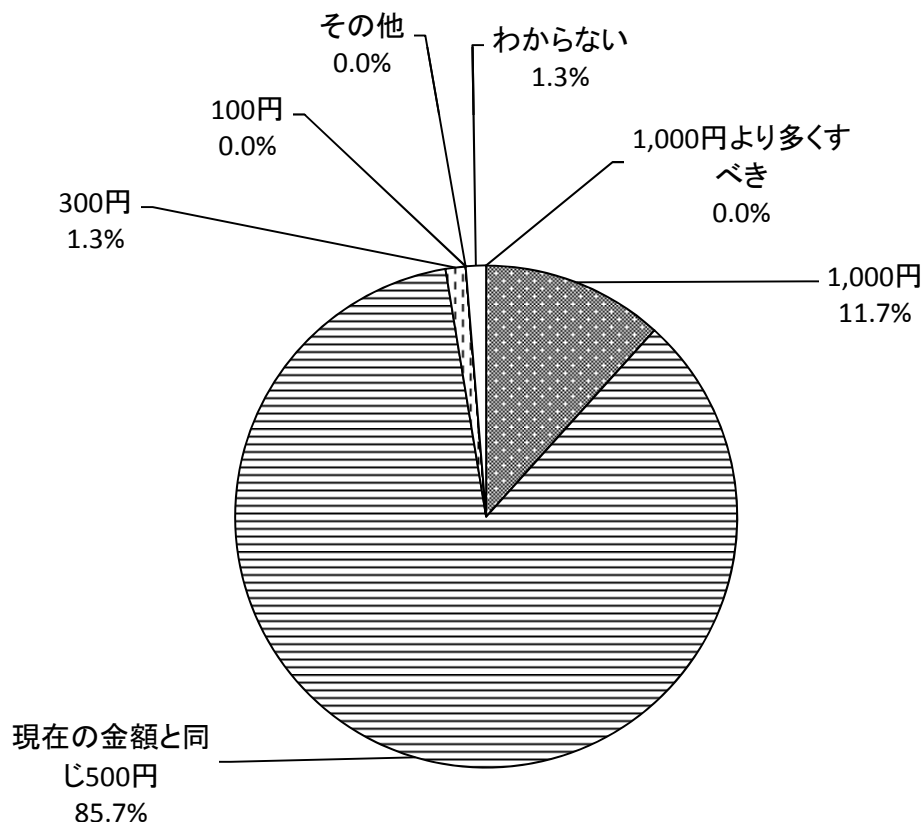
現在の森林税では、県内にお住まいの個人の方から、お一人あたり**年額500円**をいただいています。

仮に森林税を継続する場合、年間どの程度の金額までの負担が適切とお考えですか？

次の中から1つお選びください。

「現行と同じ500円」が85.7%と最も高い割合で、次いで「1,000円」が11.7%と高い割合となった。

	n=77	回答数 (市町村数)	割合(%)
① 1,000円よりも多くすべき		0	0.0
② 1,000円		9	11.7
③ 現在の金額と同じ500円		66	85.7
④ 300円		1	1.3
⑤ 100円		0	0.0
⑥ その他		0	0.0
⑦ わからない		1	1.3

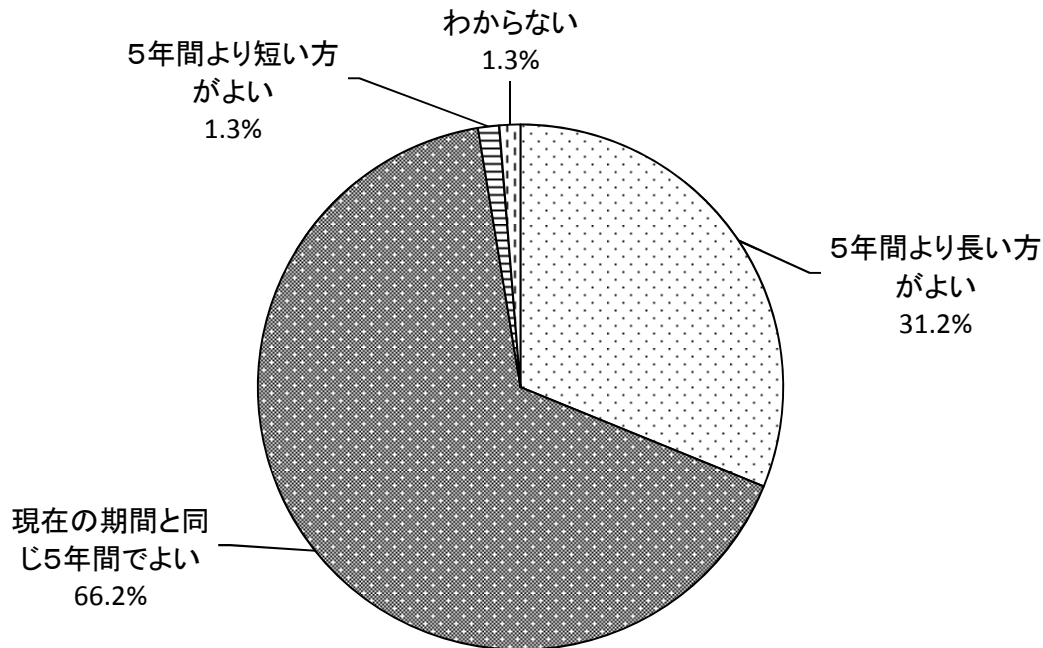


問6 森林税を継続した場合の期間について

現在の森林税は、平成20年度から24年度までの**5年間**が実施期間です。
仮に森林税を継続する場合、**継続する期間についてどのようにお考えですか？**
次の中から**1つ**お選びください。

「現行と同じ5年間」が66.2%と最も高い割合で、次いで「5年間より長い方がよい」が31.2%と高い割合となった。

	n=77	回答数 (市町村数)	割合(%)
① 5年間より長い方がよい		24	31.2
② 現在の期間と同じ5年間でよい		51	66.2
③ 5年間より短い方がよい		1	1.3
④ わからない		1	1.3



問7 森林税に関するご意見について

30市町村から御意見をいただきました。主な内容は次のとおりです。

- ・森林税の継続。
- ・切捨間伐への助成の継続。
- ・県民への普及啓発。
- ・新たな分野への活用。

平成23年度 森林づくり県民税アンケート調査
(市町村議会)

長野県

1 調査目的

長野県森林づくり県民税に対する市町村議会の意向を調査分析し、「みんなで支える森林づくり県民会議及び地域会議」等において、今後の森林づくり県民税のあり方を検討する資料とするため。

2 調査方法

- ・ 地域：長野県全域
- ・ 配付及び回収方法：郵送配付・郵送回収
- ・ 調査期間：平成23年9月1日～9月30日

3 配付・回収状況

- ・ 配布数：77市町村議会
- ・ 回収数：77市町村議会
- ・ 回収率：100%

4 集計等について

- ・ 四捨五入の有効数字の関係で、合計が100%にならない場合があります。
- ・ 要求回答数を超える等、設問の要求形式に沿わない回答を無効としました。
- ・ 無回答・無効は、不明として表示しました。
- ・ 森林づくり県民税を森林税として表示しました。
- ・ 設問の回答項目の一部をわかりやすい標記に変更しました。

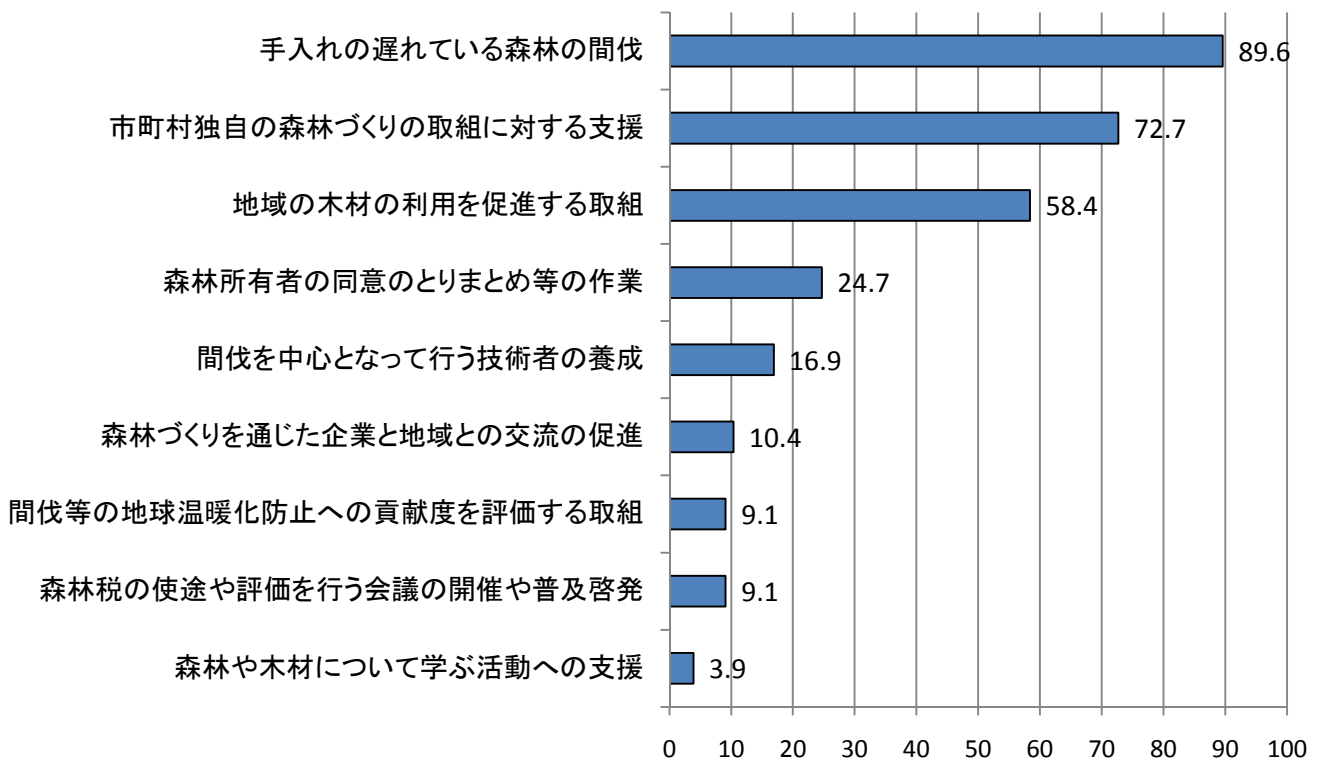
5 回答状況

問1 森林税を活用した取組について

森林税は現在、以下のような森林づくりに関する取組に活用されています。
大切だと思う取組を、次の中から**3つまで**お選びください。

「手入れの遅れている森林の間伐」が89.6%と最も高い割合で、次いで「市町村独自の森林づくりの取組に対する支援」（72.7%）、「木材の利用を促進する取組」（58.4%）の順となった。

	n=227	回答数 (市町村議会数)	割合(%)
① 手入れの遅れている森林の間伐		69	89.6
② 森林所有者の同意のとりまとめ等の作業		19	24.7
③ 間伐を中心となって行う技術者の養成		13	16.9
④ 市町村独自の森林づくりの取組に対する支援		56	72.7
⑤ 地域の木材の利用を促進する取組		45	58.4
⑥ 森林税の使途や評価を行う会議の開催や普及啓発		7	9.1
⑦ 森林や木材について学ぶ活動への支援		3	3.9
⑧ 森林づくりを通じた企業と地域との交流の促進		8	10.4
⑨ 間伐等の地球温暖化防止への貢献度を評価する取組		7	9.1
⑩ 大切な取組はない		0	0.0
⑪ わからない		0	0.0

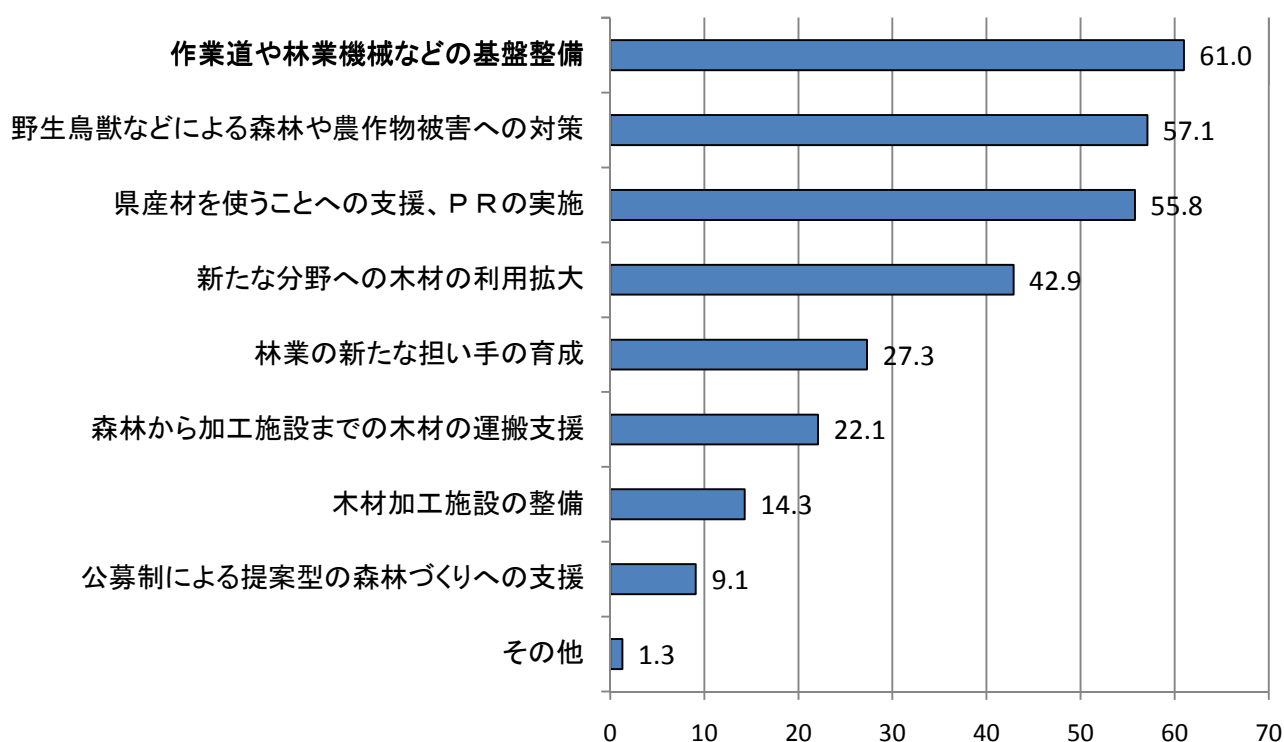


問2 森林税を継続した場合の取組について

仮に森林税を継続する場合、森林税を活用すべきだと考える今後の新たな取組内容は何ですか？ 次の中から**3つまで**お選びください。

「作業道等の基盤整備」が61.0%と最も高い割合で、次いで「野生鳥獣などの被害対策」(57.1%)、「県産材を使うことへの支援やPR」(55.8%)の順となった。

	n=224	回答数 (市町村議会数)	割合(%)
① 作業道や林業機械などの基盤整備		47	61.0
② 森林から加工施設までの木材の運搬支援		17	22.1
③ 木材加工施設の整備		11	14.3
④ 県産材を使うことへの支援、PRの実施		43	55.8
⑤ 新たな分野への木材の利用拡大		33	42.9
⑥ 林業の新たな担い手の育成		21	27.3
⑦ 野生鳥獣などによる森林や農作物被害への対策		44	57.1
⑧ 公募制による提案型の森林づくりへの支援		7	9.1
⑨ その他		1	1.3
⑩ 新たに取り組むべき内容はない		0	0.0
⑪ わからない		0	0.0

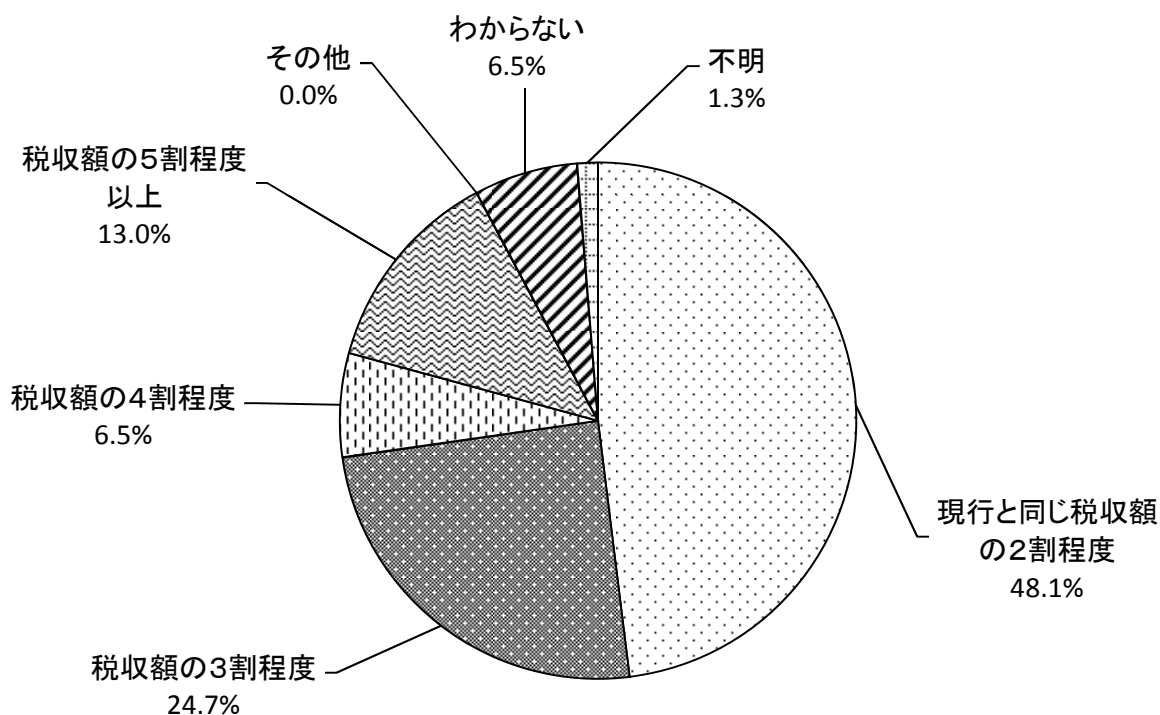


問3 森林税を継続した場合の森林づくり推進支援金について

仮に森林税を継続する場合、森林づくり推進支援金の金額で**適当**と思う割合は何ですか？
次の中から**1つまで**お選びください。

「現行と同じ2割程度」が48.1%と最も高い割合で、次いで「税収額の3割程度」（24.7%）、「税収額の5割程度以上」（13.0%）の順となった。

	n=77	回答数 (市町村議会数)	割合(%)
①現行と同じ税収額の2割程度		37	48.1
②税収額の3割程度		19	24.7
③税収額の4割程度		5	6.5
④税収額の5割程度以上		10	13.0
⑤その他		0	0.0
⑥わからない		5	6.5
⑦不明		1	1.3



問4 森林づくり推進支援金に関するご意見について

25市町村議会から御意見をいただきました。主な内容は次のとおりです。

- ・各地域の多様な課題に対応するため配分額の拡充。（多数）
- ・重要な事業であるため継続。
- ・成果等の普及啓発が不足。

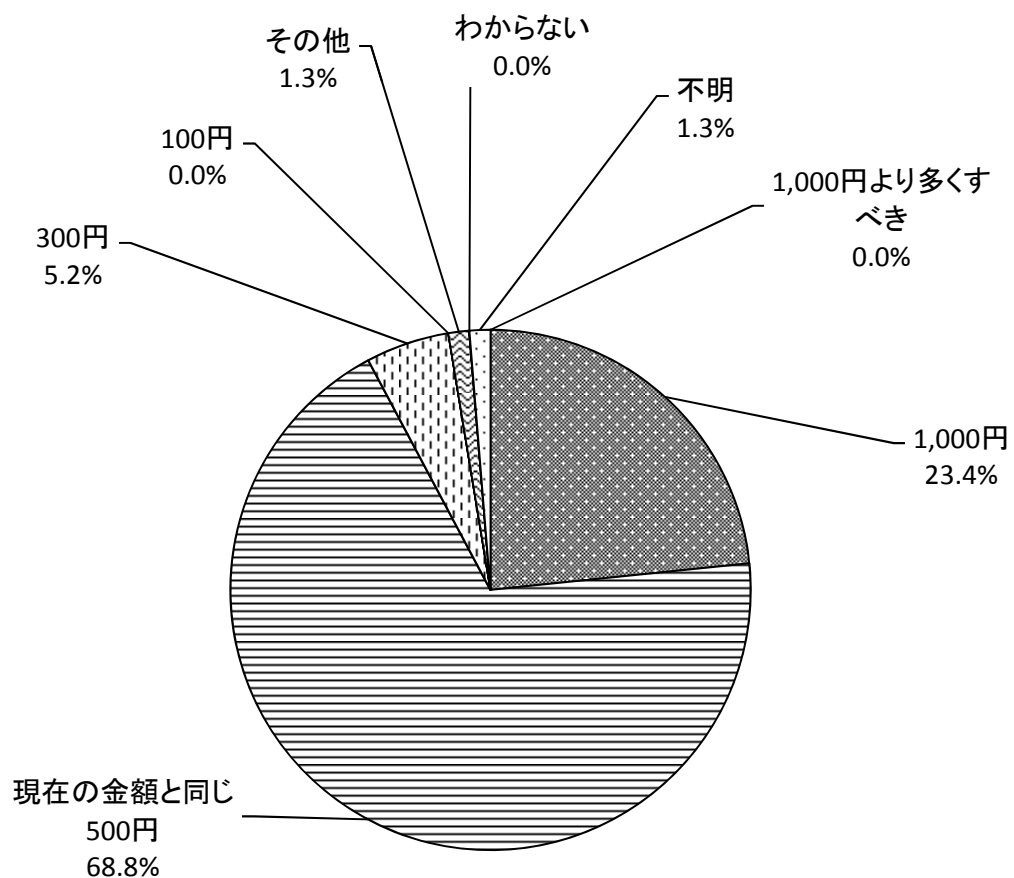
問5 森林税を継続した場合の金額について

現在の森林税では、県内にお住まいの個人の方から、お一人あたり**年額500円**をいただいています。

仮に森林税を継続する場合、年間どの程度の金額までの負担が適当とお考えですか？
次の中から1つお選びください。

「現行と同じ500円」が68.8%と最も多い割合で、次いで「1,000円」が23.4%と高い割合となった。

	n=77	回答数 (市町村議会数)	割合(%)
① 1,000円よりも多くすべき		0	0.0
② 1,000円		18	23.4
③ 現在の金額と同じ500円		53	68.8
④ 300円		4	5.2
⑤ 100円		0	0.0
⑥ その他		1	1.3
⑦ わからない		0	0.0
⑧ 不明		1	1.3

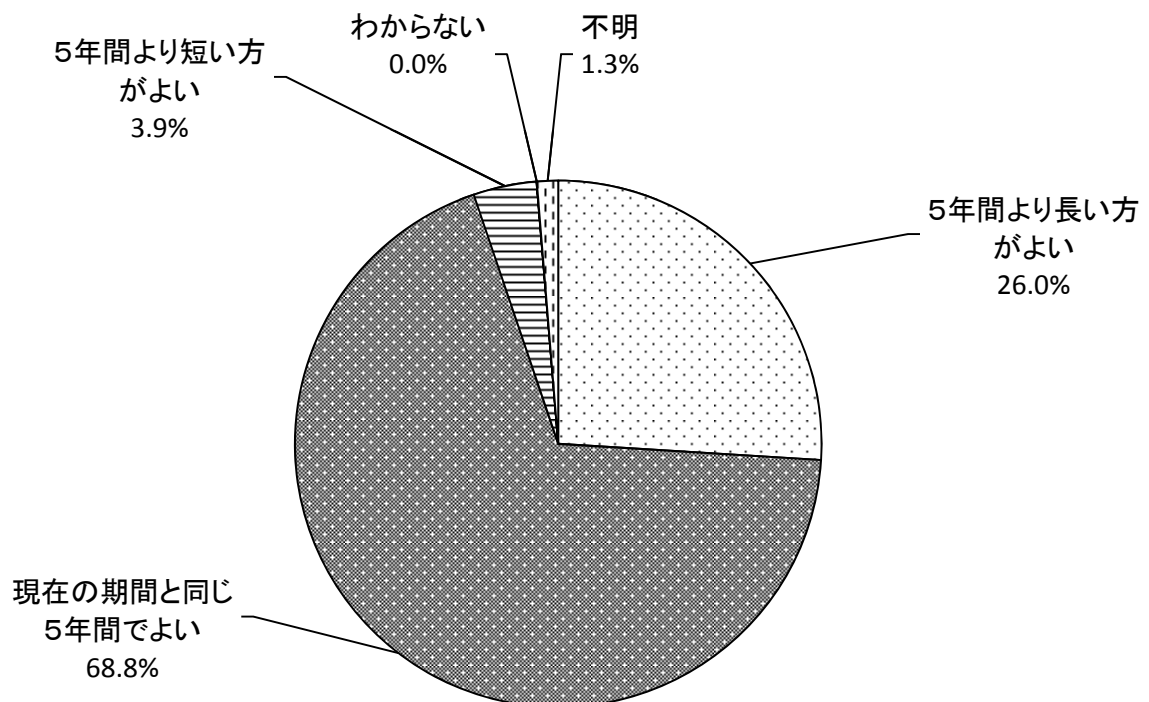


問6 森林税を継続した場合の期間について

現在の森林税は、平成20年度から24年度までの**5年間**が実施期間です。
仮に森林税を継続する場合、**継続する期間についてどのようにお考えですか？**
次の中から**1つ**お選びください。

「現行と同じ5年間」が68.8%と最も高い割合で、次いで「5年間より長い方がよい」が26.0%と高い割合となった。

	n=77	回答数 (市町村議会数)	割合(%)
① 5年間より長い方がよい		20	26.0
② 現在の期間と同じ5年間でよい		53	68.8
③ 5年間より短い方がよい		3	3.9
④ わからない		0	0.0
⑤ 不明		1	1.3



問7 森林税に関するご意見について

29市町村議会から御意見をいただきました。主な内容は次のとおり。

- ・森林税の継続。(多数)
- ・成果等の普及啓発が不足。
- ・野生鳥獣による被害対策への活用。